

ヨーロッパにおける土地利用と健康インパクト評価（HIA）

Andy Pennington氏（リバプール大学）

リバプール大学のIMPACT（International Health Impact Assessment Consortium, <http://www.liv.ac.uk/ihia/index.htm>）からAndy Pennington氏を招いて、健康インパクト評価（HIA）に関するシンポジウムを2010年1月30日（土曜日）に開催した。Andy氏の講演内容の概要と講演資料をご本人の了承を得て紹介する。

健康インパクト評価（Health Impact Assessment, HIA）とは

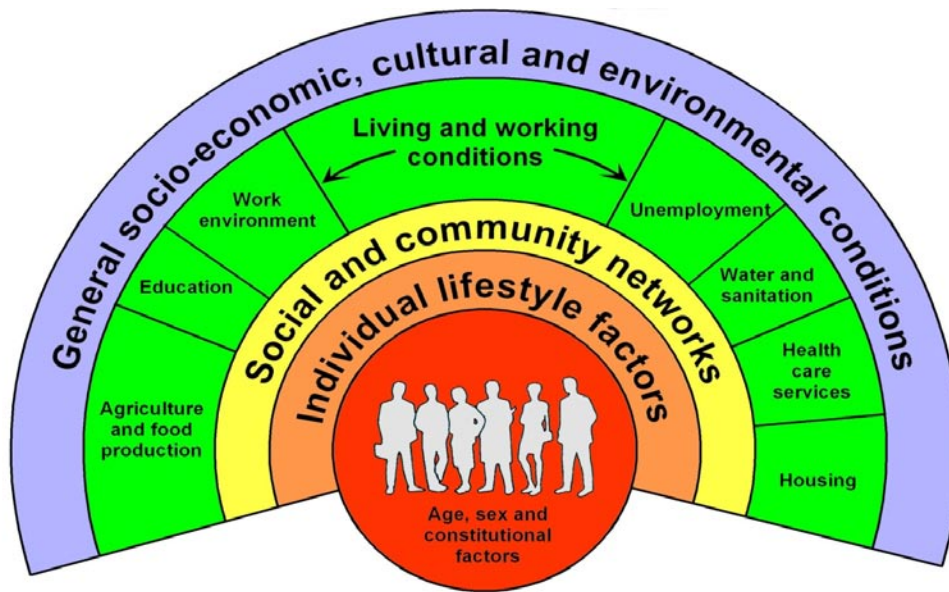
健康インパクト評価（Health Impact Assessment, HIA）とは、政策、施策、事業が潜在的に集団に与える健康影響や、集団における影響の分布などについて判断するための一連のプロセス、方法、およびツールのことである（WHO Europe, 1999）。ヨーロッパを中心に、健康に影響する政策や事業について実施されている。それは、政策や開発計画の採否を決定するものではなく、それらの改善を促すための情報提供が目的としている。悪影響のみでなく、好影響も評価することに特徴がある。

HIAを実施するには数多くの理由があるが、その主なものを表1に示す。

表1 HIAを実施する主な理由

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 公的機関としての責任2. 企業の社会的責任3. 事業への有益性、付加価値の付与4. 政策是正コストの未然防止5. 持続可能な開発への寄与6. リスクマネジメントとしての必要性7. 法制度・許認可への反映8. 市民等のステークホルダーの関与9. 好影響と悪影響両面のバランスの取れた評価10. 国・地域・自治体／政策・施策・事業の各レベルへの適用性 |
|---|

HIAでは、健康をどう定義するかが重要である。WHO憲章前文にある健康の定義のように、身体的なものに限定せず、心理的社会的な側面を含めた広義の定義を用いている。Whiteheadの示した5階層—①個人の属性、②個人のライフスタイル、③社会やコミュニティとのネットワーク、④生活・職場環境、⑤社会経済・文化・環境条件—からなるフレームを用いて健康を評価している。



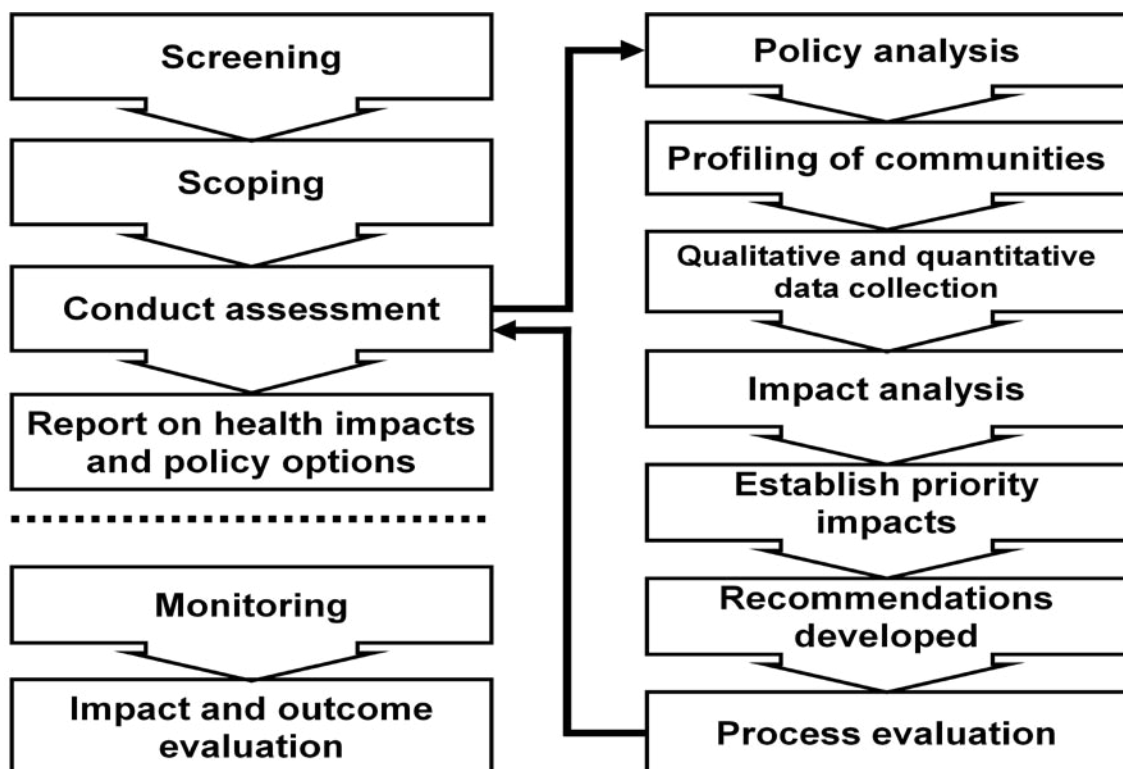
Source: Dahlgren and Whitehead, 1991

環境影響評価との違い

環境影響評価は、開発許可の手続きの一つとして、リスクを評価するものであり、法律で規定されている主に物理的なリスクをを量的指標で評価する。それに対しHIAは、国民の健康増進のために実施される広範な政策・施策・事業を評価するものであり、悪影響だけでなく良い影響も含めた両面の影響を質的な方法も用いて評価する。ウェールズやタイなど一部の国を除き、法制化されているものではない。法定化にも影の側面があり、環境影響評価が批判されているように、アセスメントの対象範囲が限定されてしまう恐れもある。

HIA の手続き

HIAの手順をモデル化したものを図1に示す。スクリーニング（政策や事業が健康に影響するか）、スコーピング（どの程度の地理的範囲、人々に影響するか）、アセスメントの実施（政策分析、コミュニティのプロファイリング、定性・定量データの収集、影響分析（大きさ、期間）、影響の立証、勧告）、勧告レポートの作成（どこまで記載するかは事業者がリソースを勘案して判断。代替案の提示よりも優先順位付けした勧告をすることが目的）、継続的モニタリングなどである。



HIA の対象例

HIAの適用対象は、土地利用計画（交通システムのタイプや配置，商工業開発の住宅地域への近接性，地域再生の必要なエリア，公共空間や緑地へのアクセス性），住宅政策と健康（居住密度，住商混合開発，生涯住宅，エコ住宅等），廃棄物の住民への影響，再開発事業の現在及び将来の住民への影響，雇用政策，など，多岐にわたっている。

貧困地域の再開発事業の事例では，住民を仮移転させても，新たに建設された住宅に低所得者が入居できない，移転先の住環境をむしろ悪化させるといった問題がHIAで明らかにされた．その後の再開発計画が見直された．道路計画における例では，新規道路建設によって分断される地域の発生に対し，分断の少ないルートへの変更と商業用途の導入による利便性の向上等を図り，地域環境を向上させた事例などがある．

HIAの対象範囲は広く国，地域，自治体の各レベルへの適用が可能である．

計画への HIA の導入に向けて

まず，HIAを政策や事業を行う前段階の要件とすることを制度に位置づけること，HIAの一貫性・整合性を確保するため，計画の指針及び運用指針も必要であ

る．大量の定量的なデータ，証拠の収集ではなく，質的な者も含めた情報を整理してまとめることが重要である．評価者次第で結果が異なる面があるため，HIAを担う者の研修やサポート体制などcapacity buildingが必要である．

自治体の計画に「健康に重大な影響を及ぼす恐れがあるものについてはHIAが必要」と位置づけることから始まる．